

事業所名

児童発達支援放課後等デイサービス みらいく

## 支援プログラム（参考様式）

作成日

2024年

12月

28日

法人（事業所）理念		福祉、教育を必要とする人々、その他の支援を必要とする人々に対して、発達、自立に必要な事業を行い、生き生きとした日々を過ごせる社会づくりを行う。					
支援方針		1、障害のある子ども本人への最善の支援 2、家族支援の重視 3、地域社会への参加・包容の推進と合理的配慮					
営業時間		9時	0分	18時	0分	送迎実施の有無	あり なし
支 援 内 容							
本人支援	健康・生活	健康状態の維持・改善、生活のリズムや生活習慣の形成、基本的な生活スキルの獲得を目的とする。 ・検温の実施、手洗いの励行、時間割に合わせたプログラムの実施					
	運動・感覚	姿勢と運動・動作の向上、姿勢と運動・動作の補助的手段の活用、保有する感覚の総合的な活用を目的とする。 ・体操、トランポリン、公園への散歩、折り紙、はさみの習得、季節に合わせた制作物の作製					
	認知・行動	認知の発達と行動の習得、空間・時間、数等の概念形成の習得、対象や外部環境の適切な認知と適切な行動の習得を目的とする。 ・脳バランサーキッズの活用、かるた、トランプ等のカードゲームを活用した数字の習得。					
	言語 コミュニケーション	言語の形成と活用、言語の受容及び表出、コミュニケーションの基礎的能力の向上、コミュニケーション手段の選択と活用を目的とする。 ・絵本や書籍を用いた言語の習得、しりとりゲームなどの遊びを取り入れた言語習得。					
	人間関係 社会性	他者との関わり（人間関係）の形成、自己の理解と行動の調整、仲間づくりと集団への参加を目的とする。 ・集団での行動や遊びを通じたコミュニケーションの形成、距離感の把握。					
家族支援		保護者からの相談には都度親身になって対応している。 また、必要に応じて、対面での面談を実施し、問題解決に当たっている。			移行支援		多機能型施設の特徴をいかして、幼稚園、保育園、こども園から、小学校進級の際には、ストレスなくスムーズに移行できるよう、配慮している。
地域支援・地域連携		こども療育センター、障がい者基幹相談支援センター、社会福祉協議会、地域支援事業者などと連携をとりながら、障がい者への支援を行っている。			職員の質の向上		新入社員に対する研修、定期的な研修、勉強会への参加、消防訓練の実施など、職員のスキル向上に努めている。
主な行事等		正月の会、節分、おひなさまの会、こどもの日会、ハロウィンパーティ、クリスマス会、おやつ作り、図書館訪問、プラネタリウム鑑賞、など、季節に合わせた行事を実施している。					